

県と神戸大、創薬企業

コロナ抗体薬開発へ

県立病院退院者の血液活用

兵庫県と神戸大学、創薬ベンチャーのイーベック（札幌市）は1日、新型コロナウイルスを無毒化する治療薬「中和抗体医薬品」を共同開発すると発表した。県立加古川医療センター（加古川市）を退院したコロナウイルス感染症の回復者の血液を使って研究を進める。すでに同種の研究開発が世界中で進められており後発組だが、産官学でタッグを組んで製品化を目指すという。

（霍見真一郎）

中和抗体医薬品は、ウイルスの表面を覆って無毒化し、細胞への侵入を防ぐ「抗体」を体外で作ったもの。ウイルス（の一部）を無毒化したコピーを注射し、体内で抗体を作らせて感染を防ぐワクチンとは異なり、感染した後の治療に使われる。米国のトランプ大統領が感染した際、複数の中和抗体を混ぜた薬が使われたことで有名だが、まだ世界で製品化されたものはないという。

神戸大大学院医学研究科付属感染症センターの森康子教授によると、今後、県の全面的な協力で、同医療センターを退院した回復者から血液の提供を受け、治療効果の高い抗体を探し出す。神戸医療産業都市にも拠点を持つイーベック社は、独自技術も活用して、3カ月で候補となる抗体を出したい」と意気込みを語った。



コロナ治療薬を共同開発することを発表した神戸大の森教授（左端）ら＝1日午後、兵庫県庁

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①記事から次の文章に言葉を書き込みましょう。

㊦兵庫県と神戸大学、創薬ベンチャーのイーベックは、新型コロナウイルスを無毒化する治療薬 ㊦

を共同開発すると発表した。

①県立加古川医療センター（加古川市）を退院したコロナウイルス感染症の を使って研究を進める。

㊦㊦は、ウイルスの表面を覆って無毒化し、細胞への侵入を防ぐ「抗体」を体外で作ったもの。ワクチンとは異なり、

の治療に使われる。

㊦抗体医薬品は、がん免疫治療薬 などが知られるが、

極めて高価になるケースが多く、 も課題だ。

②感想を書きましょう。

ただ、製品化は抗体を決定し、臨床試験や薬事承認を経た後となる。抗体医薬品は、がん免疫治療薬「オプジーボ」などが知られるが、極めて高価になるケースが多く、薬価も課題だ。

この日、会見に臨んだ井戸敏三知事は「コロナに感染した人が血液を提供して貢献する協力体制が作れた。神戸発ということ、（iPS細胞を開発した）山中先生に次ぐような成果につながってくれば」と話した。